

日本膜学会講演会 ～2050年カーボンニュートラルに向けた二酸化炭素分離膜の最新動向～

主催：日本膜学会


協賛(予定)：化学工学会、高分子学会、先端膜工学研究推進機構、日本化学会、
日本化学連合、分離技術会

開催日時：2023年3月13日(月) 13:00～18:05

開催方式：オンライン開催

平素は当会に何かとご尽力を賜りまして誠に有り難うございます。わが国は、2020年10月に2050年カーボンニュートラルを宣言し、2021年4月の気候変動サミットおよび2021年11月のCOP26では「2030年度における温室効果ガスを2013年度に比べ46%削減する」という目標を表明しました。わが国は、現在、年間で12億トンを超える温室効果ガスを排出しており、2050年までにこれを実質ゼロにする必要があります。新たな成長技術として、省エネルギーな分離プロセスである膜分離への期待は大きく、特に、燃焼排ガスや天然ガス・バイオガスからの二酸化炭素分離回収への適用を目指した分離膜の研究開発が進められております。

今回、昨年度に引き続き二酸化炭素分離膜の最新動向を概観するために、二酸化炭素分離膜の実用化を目指して精力的に研究開発に取り組んでおられる講師の方々をお迎えし、カーボンニュートラル実現に向けた膜技術開発の加速につながる講演会を開催させていただきたいと思っております。尚、現状も感染拡大の予断を許さない新型コロナウイルスの影響より、本講演会はZoomにて開催させていただきます。オンラインミーティングの接続準備をしていただきたくお願い申し上げます。大変お忙しい中恐縮ですが是非ご参加いただきたく宜しくお願い申し上げます。



プログラム：(講演タイトルは仮)

- | | | |
|-------------|---|-------------------------|
| 13:00-13:05 | 開会挨拶 | 広島大学 教授 都留 稔了 氏 |
| 13:05-13:50 | 【基調講演】CO ₂ 分離膜の概観 | 山口大学 名誉教授 喜多 英敏 氏 |
| 13:50-14:20 | CO ₂ 分離のためのアミン含有ゲル粒子膜の開発 | 九州大学 教授 星野 友 氏 |
| 14:20-14:50 | アミン含有高分子膜によるCO ₂ 分離回収 | 京都工芸繊維大学 教授 谷口 育雄 氏 |
| 14:50-15:20 | イオン液体をCO ₂ 分離媒体とするCO ₂ 分離膜の開発 | 神戸大学 准教授 神尾 英治 氏 |
| 15:20-15:30 | (休憩・時間調整) | |
| 15:30-16:00 | 多孔質材料を用いた二酸化炭素の分離 | 岐阜大学 准教授 宮本 学 氏 |
| 16:00-16:30 | CO ₂ 分離用炭素膜の開発動向と分離特性 | 産業技術総合研究所 主任研究員 吉宗 美紀 氏 |
| 16:30-17:00 | 気相蒸着系シリカ膜によるCO ₂ 分離 | 広島大学 助教 長澤 寛規 氏 |

- 17:00-17:30 分子シミュレーションによるCHA型ゼオライト膜の
高圧CO₂の分離機構と性能予測
工学院大学 教授 高羽 洋充 氏
- 17:30-18:00 機械学習によるCO₂膜分離プロセスの多目的最適化
産業技術総合研究所 主任研究員 原 伸生 氏
- 18:00-18:05 閉会挨拶
神戸大学 教授 吉岡 朋久 氏



参加費：主催団体：個人会員および法人会員の社員 10,000 円

協賛団体：個人会員 10,000 円、

学生：3,000 円、会員外：20,000 円（消費税込）

申込締切：2023 年 3 月 8 日（水）

申込方法：Web 上の参加申込フォームよりお申込みください。参加費は、銀行振込 [みずほ銀行 本郷支店 普通預金 0961801 「日本膜学会」] をご利用ください。

参加申込フォーム：<https://maku-jp.sakura.ne.jp/form/view.php?id=37669>

ウェブサイト：<http://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html>

注意事項：

- ・オンライン配信ツールは「Zoom Meeting」を利用します。Zoom アプリのダウンロード、Web ブラウザでご参加が可能です。Zoom のアカウントを作る必要はありません。
- ・本講演は全てライブ配信となりますので、開催日時のお間違いの無いようご注意ください。
- ・参加申込をされた方には、3 月 10 日頃に E-mail にて Zoom の接続情報等を送付します。
- ・パソコン・タブレット等、聴講（受信）に必要な機材や設備は各自でご準備ください。
- ・発表者の許可の無い限り、受信資料の保存（録音・録画）、再配布は固く禁止します。

問合せ先：

一般社団法人日本膜学会 事務局（e-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp）

以上